

Vol.32
2025年9月14日吉岡グランドワーク実行委員会
SINCE 1999

吉岡には幼稚園から大学まであった!!

1955（昭和30）年頃、全国で昭和の大合併がありました。吉岡村は、近隣5ヶ村（御正・小原・吉岡・市田・吉見）合併の道を選ばず、熊谷市に編入しました。そこで、西に江南村、東に大里村ができました。1970年代から、地方史ブームが訪れました。まだ潤沢（じゅんたく）であった地方自治体は、こぞって自治体史を刊行しました。近隣の大里や江南には、立派な村史や町史がありますが、吉岡にはありません。「牛後」（ぎゅうご）でした。ちょっと残念です。

そこで、身近な歴史の具材は、残された石造物にあります。中学校には、校門、健児が丘碑、校歌碑、海拔等の標識と共に、立派な熊谷高校定時制吉岡分校跡碑があります。

かつて、熊谷高校には、5校の定時制がありました。1948（昭和23）年開校した、本校、寄居分校（1959年～寄居高校）、深谷分校（1961年廃校）、妻沼分校（1981年廃校）、そして1949年に開校した吉岡分校（1982年廃校）です。



吉岡には、吉岡幼稚園（2018年閉園）・立正幼稚園、小・中学校、定時制高校、立正大学と、こんな小さな地域に全ての教育施設がありました。珍しいと思います。原（中学校周辺の台地）の地は、昭和の初期に村民により開墾され、「健児が丘」には、戦時中には青年学校が建てられました。戦後は、昼間は中学校（卒業生5,871名）、夜間は高校（卒業生520余名）として、地元民の「がっこう」の役割を担ってきました。この丘には、たくさんの中学校の青春があったのだろうと想像すると、感慨深いものがあります。

9月の里山活動は、9月14日（日）に行われました。自治会の皆様、立正大学関係者、中学校関係者、PTA、個人ボランティアなど20数名とシルバー人材センター会員10名の参加者が、竹の間伐、雑木林や遊歩道などの下草刈りを行いました。お陰様で、清々（すがすが）しい林になりました。お疲れ様でした。

今回の活動に先立ち、今夏、中学校裏山で蜂の巣が2個発見されました。生徒や里山活動の安全のため、校長先生・教頭先生が、迅速に業者に依頼して、撤去を行ってくださいました。ありがとうございました。

また、前回7月の活動で、刈り払い機の飛石が駐車中の車の窓ガラスに当たり、関係者に多大な迷惑をおかけする事案が発生しました。申し訳ございませんでした。深くお詫び申し上げます。再発防止の為、万全を期するつもりです。



竹切り学生三人組



斜面林の下草刈り



シルバー刈り払い隊

次回活動日

10月は休会(地区民体育祭の為)

11月9日(日) 9:00~

里山整備を予定(吉中駐車場集合)



カラー版
熊谷市HPに掲載中!!

吉岡分校跡碑文

記念碑由来

記念碑由来

のつと

県立熊谷高校定時制吉岡分校は 教育基本法及び学校教育法に則り荒川南の勤労青少年に高校教育の門を開くため 昭和二十四年五月二十八日

吉岡 御正 小原 市田 吉見五か村の組合立として吉岡中学校内に開校

する 同 三十年に吉岡が熊谷市に合併 御正と小原が江南村に 市田と吉見が大里村になつて 一市二村の組合立として現在に至る

此の間 地域高校教育の振興に献身的な管理者 热意と慈愛に溢れる恩師に

育まれた五百二十余名が期待されて社会に羽搏く 然るに 社会情勢の変化に伴い定時制への入学者が漸減し 止むなく昭和五十四年度より生徒募集を中止し

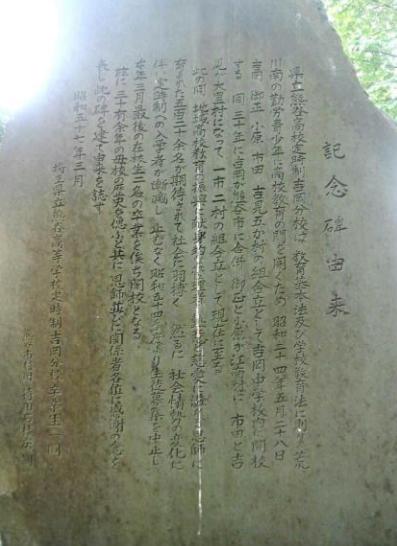
本年三月最後の卒業生二名の卒業を俟ち閉校となる

茲に三十有余年の母校の歴史を偲ぶと共に 恩師並びに関係者各位に感謝の念を表し此の碑を建て由来を誌す

昭和五十七年三月

埼玉県熊谷高等学校定時制吉岡分校卒業生一同

熊谷市村岡 持田石材店刻



散歩道の鳥たち



by Mr. Terayama

以前紹介した寺山氏より新たな写真をご提供いただきました。一部を紹介します。
吉野川護岸工事による影響が、ちょっと心配です。



ノスリ

カワセミ



ダイサギ（シラサギ）

